

令和5年度第5回あおもり未来ミーティング（北部第1区連合町会）会議概要

日時：令和6年2月7日（水）18:00～19:50

場所：油川市民センター 1階 多目的ホール

テーマ：野木和公園の整備について ほか

参加者数：29名

市側出席者：市長、副市長、総務部危機管理監、企画部長、市民部長、農林水産部長、
都市整備部理事、市民病院事務局長

■前回いただいたご意見への対応状況

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- 青森市と油川町が合併して80周年の記念事業で桜を記念植樹したが、そのうち2、3本が枯れてしまい、別な場所に植え替えたということがあった。その後の桜の手入れ状況はどのようになっているのか。また、野木和湖周辺の道は降雨後にぬかるみ、通りづらい所があるため、整備をしていただきたい。
⇒桜については、現在、指定管理者が生育状況等を見守っている。引き続き、桜に限らず他の樹木の生育にも注意しながら維持管理に努めていく。また、今年度は、あおもり桜マラソン開催に向けて園内のアスファルト舗装の修繕、トイレ周りのタイル修繕、トイレの水栓の修繕及び青森春まつり開催に向けて子どもの国の園路修繕のほか、ふるさとの森と水辺散策園内の案内看板の修繕を行った。今後も市が管理する都市公園全体での緊急度や優先度を考慮するとともに、町会の皆様とも相談しながら修繕対応をしていく。
- 北部第1区連合町会にはまだ1町会しか自主防災組織がなく、どのようにして自主防災組織を作っていけばよいかを模索している。また、結成した後で機能させていくためにはどうしたらよいか、教えてほしい。
⇒市では、自主防災組織の機能的な活動を促進するために、大きく3つの取組をしている。1つ目は、組織結成直後から活動できるよう、結成時に消火器や折り畳み担架等の防災活動に必要な防災資機材を無償配付すること。2つ目は、組織が実施する防災訓練や防災研修に市職員を派遣し、地域の災害リスクや災害時等の組織の役割等について周知すること。3つ目は、県と市の共催による青森県防災アドバイザーを講師とした講演会や図上訓練を開催し、組織が災害時等に行う具体的な活動内容を確認するといった取組をしている。加えて、市では、自主防災組織の充実・強化による地域防災力の向上を図るために、組織を結成している町会・町内会に対し、防災活動に必要な資機材の購入費の一部を補助する「防災資機材等整備事業」、防災訓練を開催するための費用の一部を補助する「防災訓練開催事業」、防災士の資格を取得する費用の一部を補助する「人材育成事業」の3つの支援によって、組織の活動促進を図っている。
- 昨今、異常気象による集中豪雨により大きな被害を受けている所があり、いつどこで大雨が降るか分からない。野木和湖の水が溢水し県道津軽あすなろラインが冠水する事態を想定し、市としてどのような対応ができるのかを教えてほしい。
⇒近年では、令和4年4月に、雪解けにより野木和湖が増水し、野木和湖の東側住宅へ冠水することが懸念された。その際、洪水吐の雑木等の撤去、また、田んぼに水を供給するための取水孔を開放することで水位を低く保つ、という作業をしたところ、令和4年は溢水せず、未然に防いだことがあった。また、令和5年3月にも、雪解けによる増水に備えて、ため池管理者とともに取水孔を開放し、あらかじめ水位を低く保つことにより、令和5年も溢水は発生していない状況である。今後も、融雪期及びかんがい期には、水田の水利用に影響が出ない範囲で道路や宅地への冠水を防ぐような対応をするとともに、ため池の水位及び洪水吐についても市で逐次パトロール等を行いながら状況を確認してまいる。